

来街者アンケート 分析まとめ

0) 実施概要

目的：沿道空間を活用することの効果検証

実施日時：12/11、12/15、他

実施方法：事務局ブース・ワークショップ（以下「WS」）実施場所での配布（記入式）

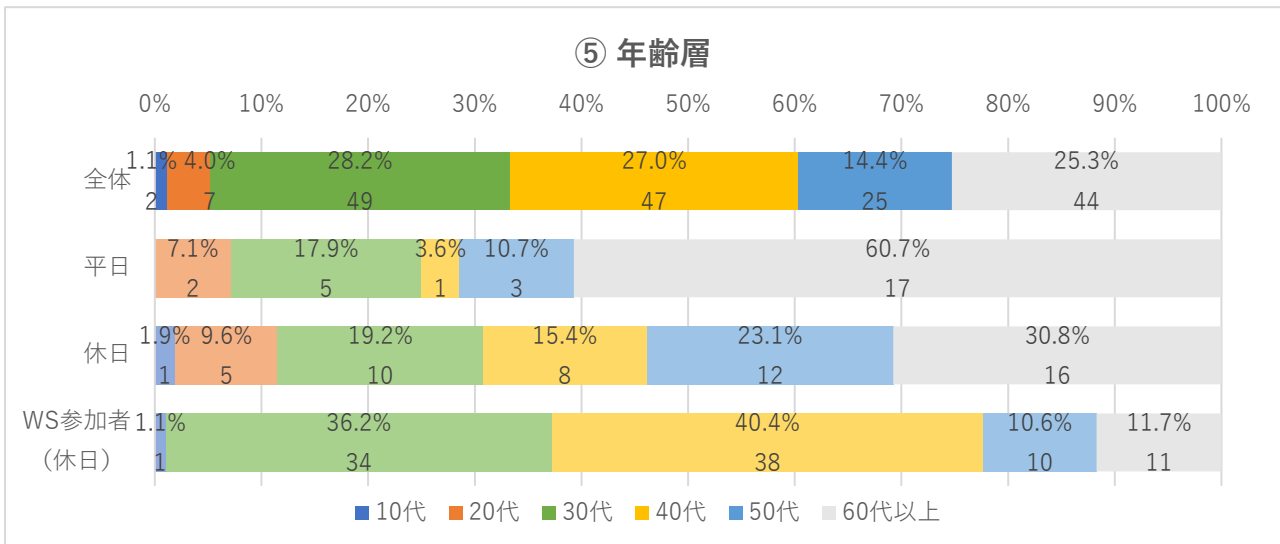
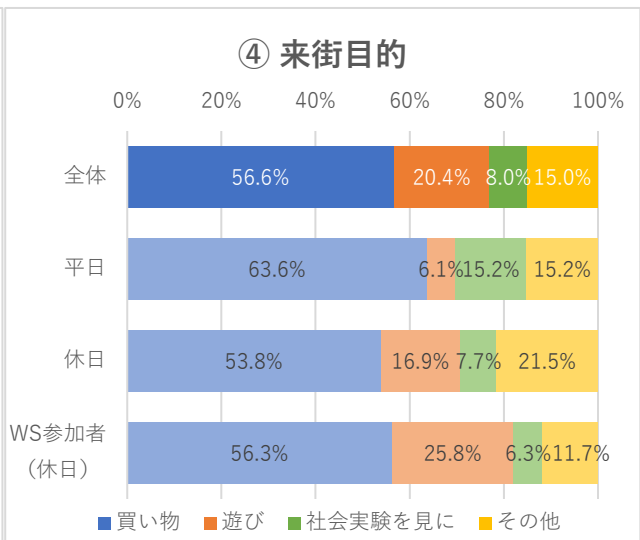
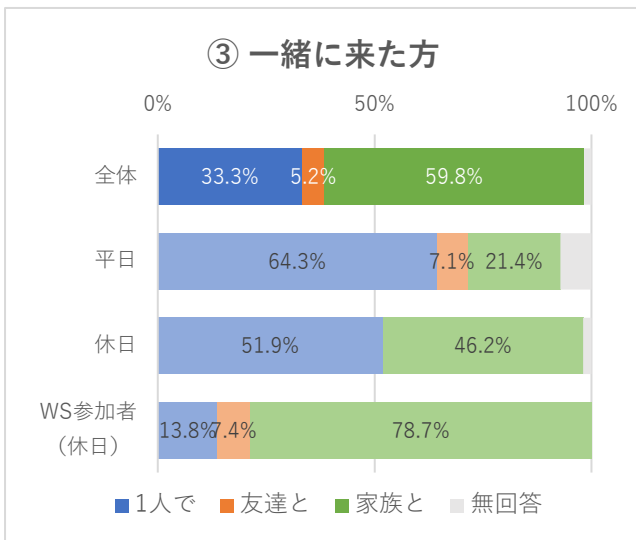
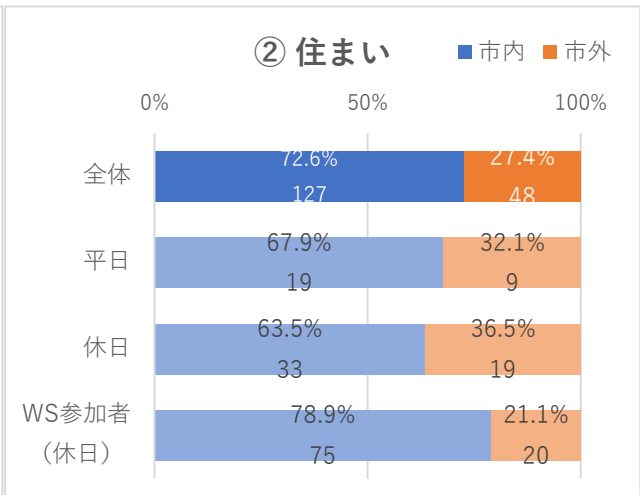
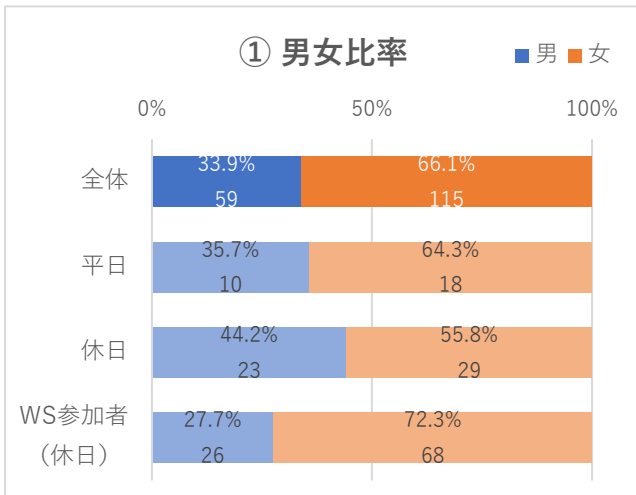
質問項目：本社会実験による、通りの印象の変化/滞在時間/本取組の継続要望有無/活用方法のアイデア

1) 回答者属性について

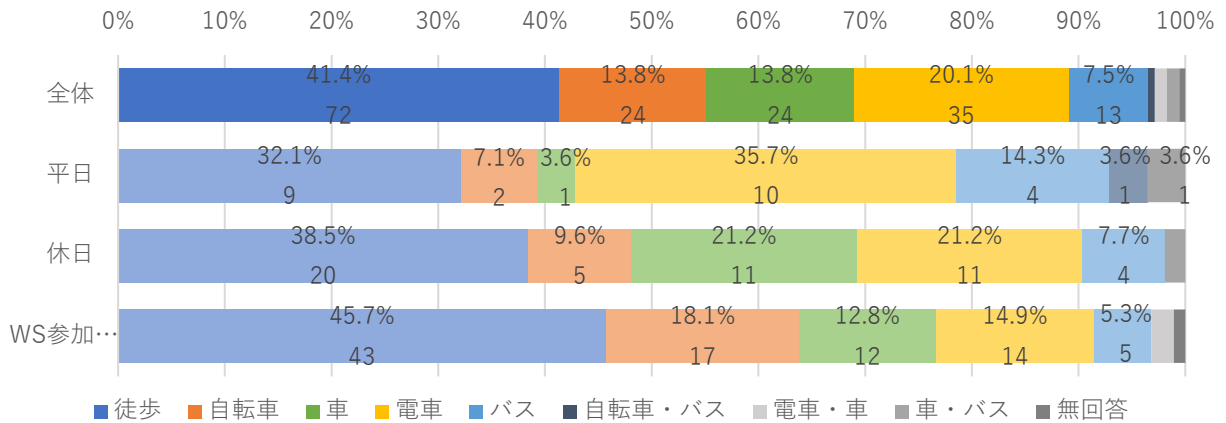
総回答数：174件（平日：28件 休日：52件 WS参加者（休日）：94件）

以下、P.2~3記載の回答者属性の分析結果をまとめる。カッコ内の数字はグラフ番号である。

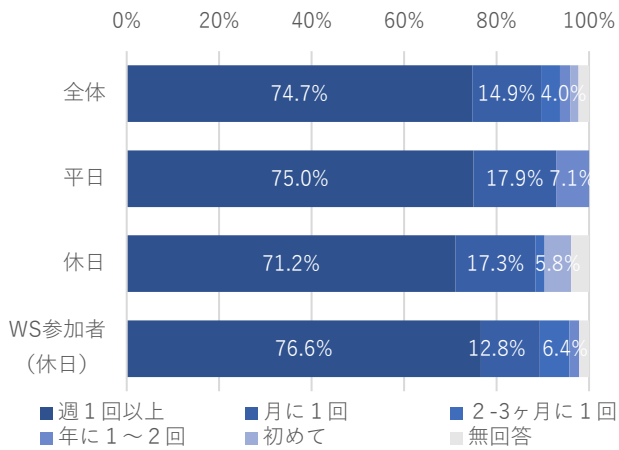
- ・回答者全体の男女比率は女性の方が高く（①）、市内居住者の回答が多かった。（②）
- ・回答者は、平日は60代以上の単身来訪者が多い。休日は家族連れが多く、特に、WSには30~40代の子育て世帯が多く参加していることがわかる。（③⑤）
- ・来街目的としては、半数以上が「買い物」を目的としている。（④）
- ・回答者の男女比率、居住地、及び、来街目的（①②④）の割合に関しては、平日・休日による差、また、WSへの参加による差は、あまり見られなかった。
- ・全日とも、原町田中央通りへは徒歩で訪れる回答者が多い。平日は電車で訪れる人が最も多く、休日になると、自転車利用者の割合が増加する。（⑥）
- ・全体の9割近くが月に1度は原町田中央通りを訪れており、全日とも7割以上は週に1度以上の高頻度で訪れる回答者であった。街の印象等社会実験の効果を知る意見として妥当だと判断する。（⑦）
- ・回答者の半数以上は、1時間以上滞在している。休日の方が、短時間滞在者（滞在時間30分以内）が多いように見えるが、平日は通過目的の歩行者が多いためか、本調査へ協力いただくことが難しかった点も考慮する必要がある。（⑧）



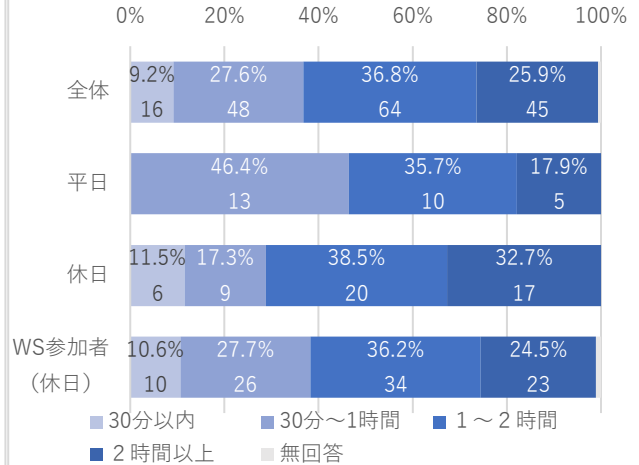
⑥ 交通手段



⑦ 来街頻度

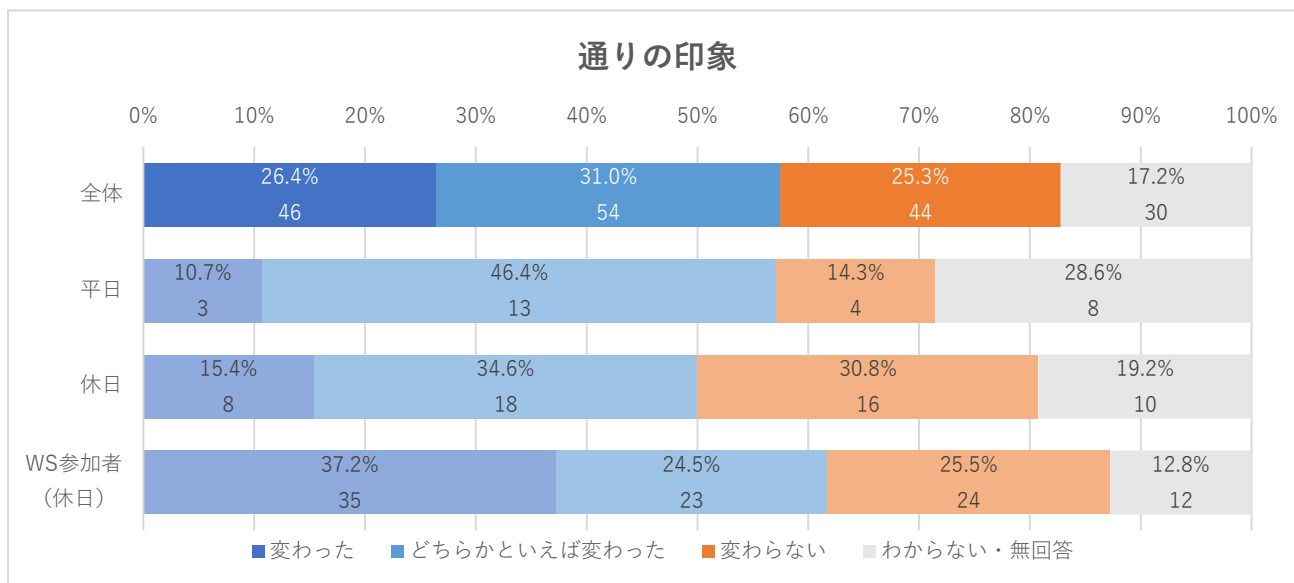


⑧ 滞在時間



2) 社会実験・沿道空間活用に対する意見

■Q1 原町田中央通りの印象は変わりましたか？



□どのように変わったか？【「変わった」を選んだ方のみ回答】

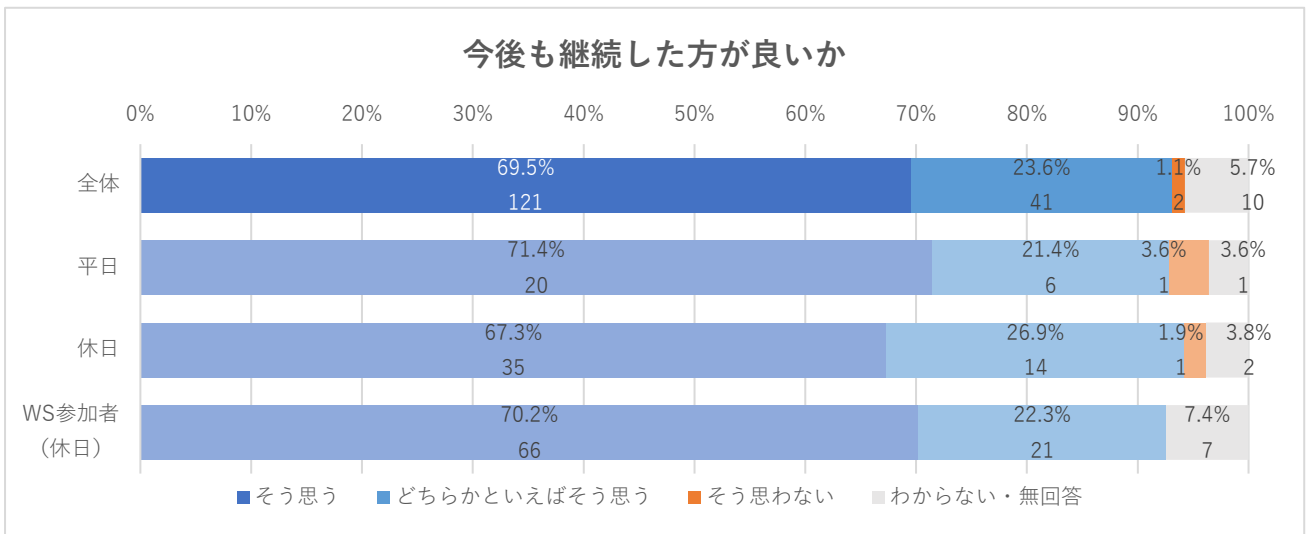
変わった点	件数	回答例
街の雰囲気	18	
・賑やか・明るくなった	(13)	・路上にお店が出ていると以前より賑やかな感じがする。 ・通りの賑わい（憩い）が増したように感じる。通りを歩く人が立ち止まり、出店者と話したり、お店の商品を眺める時間が増えた。
・歩きたくなる	(4)	・ただ通るだけの道→全然変わった。 ・すたすた歩いていた道だったが、左右を見ながら楽しく歩いた。
・寂しい	(1)	・イベントが好きで通りで商品が出ていると楽しいので、少し寂しい感じがする。
人通りの変化	5	
・増加した	(4)	・少し賑やかになった。（先週末も来た。）人通りも多くなった。
・分散している	(1)	・人の流れが分散しているような気がした
その他	29	店が変わった、昔の店舗が少なくなった、通りが綺麗になった 等

「賑やかになった」「明るくなった」等、街の雰囲気に関する意見が最も多く（13件）、その他、「歩きやすさ」や「人通りの増加」といった声が寄せられた。歩きやすさに関しては、普段見かけないお店が出ていることで、ただ歩く道から歩いて楽しい道となったといった声も寄せられた。以上より、期待した効果があったと言える。

一方で、「寂しい印象」や「人通りの分散」といった改善点も寄せられた。これらは第三者利用者の出店場所が分散していたこと、同時開催のイベント同士の連携不足等が要因として考えられる。

尚、本質問に回答した者のうち半数以上が、通りの昔と今を比較して、普段の通りの印象について回答している。質問構成の反省点として留めておく。

■Q3 今後もこのような取り組みを継続した方が良いか？



全体の7割近くの回答者が今後も継続した方が良いと回答している。平日・休日による差、また、WSへの参加による差は、あまり見られなかった。

■Q4 他にどのような使い方があったら楽しいか？

アイデア	件数	回答例
イベント	13	イベントの増加 (7) ,地域のお祭り・イベントの活性化 (6)
カフェ・飲食系	10	カフェ・雑貨の融合、地産野菜販売、移動販売車、食べ歩き 等
子供の遊び場	9	日常的な遊び場 (5) ,子供向けのイベント (4)
音楽	8	楽器演奏、路上パフォーマンス、中高生の部活披露 等
広場・休憩処	8	のんびり使える空間 (3) ,植栽 (3) ベンチ (2)
設備	4	防寒対策,ゴミ箱の設置 (3)
通りのみせ方	1	大通り側からの視認性

最も要望があったのは、「イベント」であり、フリーマーケットやマルシェ等、イベント増加への期待が多かった。また、コロナウイルス収束後の既存の地域行事への期待の声も多く挙がった。

次に多かったのは、気軽に休める飲食スペースや食べ歩きできる雰囲気づくり等「カフェ・飲食系」に関する要望であり、子供が楽しめる場所・イベントや音楽、休憩処等も多く寄せられた。

その他、車や自転車の通行に関して5件寄せられており、中には規制の強化により滞在時間を伸ばすことが可能であるとの意見も挙がった。

■Q5 上記以外でのご意見・ご感想

ご意見	件数	回答例
沿道空間活用のポテンシャル	14	
・賑わいづくりとして	(10)	・活気に繋がり良い (8) ・日常的にやってほしい。継続してほしい (2)
・市民活動の場所として	(4)	・市内の知らない活動を知るきっかけとなった (2) ・発表や交流の場が増えると良い (2)
使い方の評価	4	・隙間を有効活用できている 等
改善点	3	・地元の参加者が少ない ・広報が足りない (来たら偶然やっていた) ・コミュニケーションの対応がうまくいっていない
人通りを増やすことへの反対	3	・人通りが増えることで歩きづらくなる。ぽっぽ町田の広場の方が適している ・市民が静かに穏やかに暮らしていける方法を考えてほしい (2)
その他	21	まちづくりに対する要望 (12) ,店舗業種に対する要望 (9)

本社会実験が街の賑わいづくりにつながるといった満足した声が多く寄せられた。また、今回の第三者への貸出が、これまで知らなかった市内の市民活動団体や店舗を知るきっかけに繋がったといった声から、市民活動の広報の場としての可能性が示されたと言える。

課題点として、地元参加者の不足や広報不足が挙げられた。また、歩きやすさとの両立のために、ぽっぽ広場等、市内の屋外空間活用スペースとの連携や棲み分け、車両規制等の問題を同時に検討する必要があることも指摘されている。